

7月の中小企業月次景況調査

〔平成30年7月末現在〕

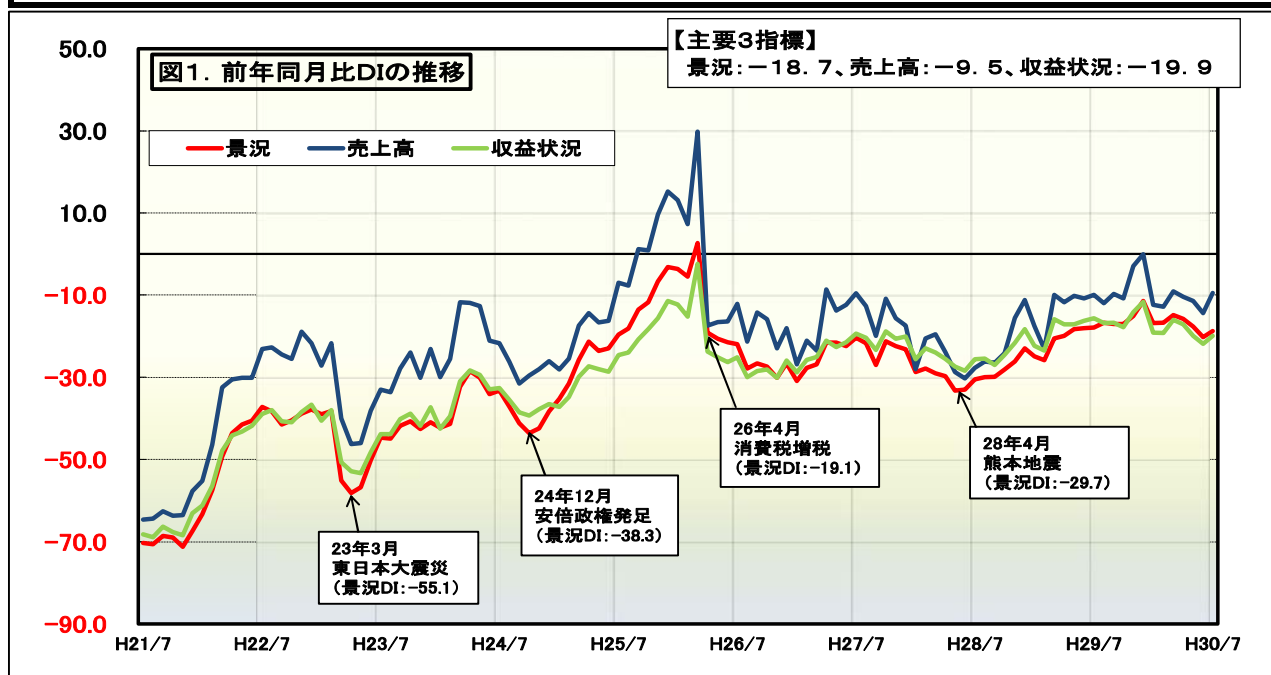


全国中小企業団体中央会
National Federation of Small Business Associations

平成30年8月20日発表

◎7月のDIは、9指標中4指標が悪化。主要3指標については、 全指標が4カ月ぶりに上昇した。

- 当月は、記録的な猛暑と豪雨の双方が中小企業の景況感に大きく影響した。
- 製造業は、西日本を中心とした物流インフラの混乱に伴う経営コスト増加や作業現場の生産性低下等が影響し、多くの業種で景況感が悪化した。
- 非製造業は、消費者の外出控え等が景況感の下押し要因となったものの、清涼飲料・冷感商材・エアコン等の需要が大幅に増加したことが影響し、商店街を除く全ての業種で景況感が上昇した。
- 全体の景況感はやがて下げ止まったものの、原材料費・人件費・燃料費等の経営コスト上昇圧力や人手不足に対する改善が進まないことから、中小企業の先行きは引き続き注視していく必要がある。



※DIとは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、好転 (増加・上昇) したとする割合から、悪化 (減少・低下) したとする割合を差し引いた値です。

本調査は、都道府県中央会に設置されている情報連絡員〔中小企業の組合 (協同組合、商工組合等) の役職員約2,600名に委嘱〕による調査結果です。
調査の対象は、情報連絡員が所属する組合の組合員の全体的な景況 (前年同月比) です。

(本発表資料のお問い合わせ先)

全国中小企業団体中央会

担当：政策推進部

TEL 03-3523-4902

<https://www.chuokai.or.jp>

7月の調査結果のD I 概況

【指標D Iの動向とポイント】

- 7月のD Iは、9指標中4指標が前月比で悪化。
- 主要3D Iについては、4カ月ぶりに全て上昇。記録的な猛暑や平成30年7月豪雨の影響が大きく、製造業の主要3D Iは全て悪化したものの、卸・小売業や建設業を中心とした非製造業の主要3D Iが下げ止まり、全体の景況感D Iは1.5ポイント、売上高D Iは4.8ポイント、収益状況D Iは1.9ポイント上昇した。
- 雇用人員D Iは前月比0.1ポイント悪化の-8.1ポイント。厳しい雇用環境が続いており、広範な業種において人手不足が深刻な状況となっている。

全指標の前年同月比D Iの推移（直近1年間）

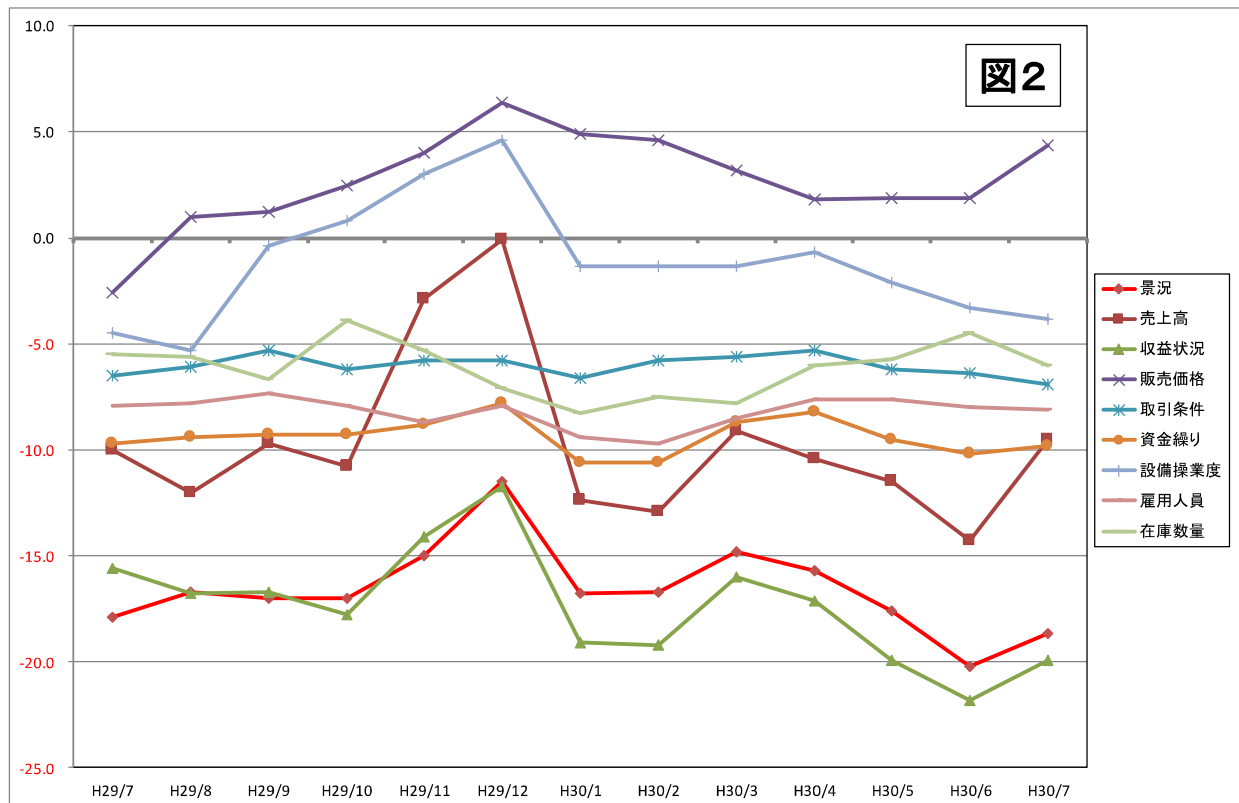


表1	H29						H30							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
景況	-17.9	-16.7	-17.0	-17.0	-15.0	-11.5	-16.8	-16.7	-14.8	-15.7	-17.6	-20.2	-18.7	1.5
売上高	-10.0	-12.0	-9.7	-10.8	-2.9	-0.1	-12.4	-12.9	-9.1	-10.4	-11.5	-14.3	-9.5	4.8
収益状況	-15.6	-16.8	-16.7	-17.8	-14.1	-11.7	-19.1	-19.2	-16.0	-17.1	-19.9	-21.8	-19.9	1.9
販売価格	-2.6	1.0	1.2	2.5	4.0	6.4	4.9	4.6	3.2	1.8	1.9	1.9	4.4	2.5
取引条件	-6.5	-6.1	-5.3	-6.2	-5.8	-5.8	-6.6	-5.8	-5.6	-5.3	-6.2	-6.4	-6.9	-0.5
資金繰り	-9.7	-9.4	-9.3	-9.3	-8.8	-7.8	-10.6	-10.6	-8.7	-8.2	-9.5	-10.2	-9.8	0.4
設備操業度	-4.5	-5.3	-0.4	0.8	3.0	4.6	-1.3	-1.3	-1.3	-0.7	-2.1	-3.3	-3.8	-0.5
雇用人員	-7.9	-7.8	-7.3	-7.9	-8.7	-7.9	-9.4	-9.7	-8.5	-7.6	-7.6	-8.0	-8.1	-0.1
在庫数量	-5.5	-5.6	-6.7	-3.9	-5.3	-7.1	-8.3	-7.5	-7.8	-6.0	-5.7	-4.5	-6.0	-1.5

【情報連絡員報告から総括する景況調査のPOINT】

1. 主要3指標はいずれも上昇したものの、記録的な猛暑により清涼飲料・冷感商材・エアコン等の需要が大幅に増加した一方で、消費者の外出控えや作業現場の生産性低下などの景況感を大幅に下押しする要因にも繋がり、当月の景況感は業種毎の明暗が分かれる結果となった。
2. 平成30年7月豪雨が景況感に与えた影響は大きく、西日本を中心とした交通網や物流インフラ等が混乱したことが調達コストの増加や消費・生産マインド等の低下に繋がった。
3. 原材料費・人件費・燃料費等の経営コスト上昇圧力や人手不足に対する改善が進まないこと等から、先行きに不安を感じている声が多数見られた。

《主な報告内容》

◇記録的な猛暑の影響

- ・猛暑の影響もあり、7月中旬頃からエアコン・冷蔵庫の販売が好調となった。（青森県／家電小売）
- ・猛暑が続く、冷感商材がよく動いている。作業服など現場での対応が急激に浸透しており、寝装・寝具なども品薄状態。今後も暑さ対策商材が動くと思う。（宮城県／繊維製品卸売）
- ・猛暑の影響で客数が激減し、売上は10%~20%減。ここ30年間で最悪の状況。（群馬県／パン・菓子製造）
- ・高齢顧客の多い商店街は、猛暑で来客が極端に少ないうえ、異常気象の逆回り台風等で大規模イベントが中止となり大きな痛手となった。（滋賀県／商店街）
- ・組合員全体的には、昨年に比べ売上は上昇傾向にあるが、7月は猛暑が続く作業効率も悪く、暑さ対策に係るコストも増加した為、利益上昇は見受けられない。（愛媛県／造船）

◇平成30年7月豪雨の影響

- ・売上高が低迷している中、7月は異常気象（猛暑・豪雨）により顧客の客足が伸びず、前年同月に比べ大幅な売上高の減少となった。（和歌山県／家具製造）
- ・7月については、豪雨、その後の災害的な酷暑、また台風12号の横断等々自然現象の要因で、物流が大混乱を極めた月となった。8月についても引き続き不安定な状況が予想される。（岡山県／倉庫業）
- ・豪雨災害により、とても買い物をする雰囲気ではなく、夏のイベントも全て中止となり、閑散とした商店街がしばらく続きそうだ。（愛媛県／商店街）
- ・平成30年7月豪雨による直接・間接被害やマツダの操業停止等を受け、自動車関連は売上減少となっている。（広島県／プラスチック製品製造）
- ・豪雨によりJRでの貨物輸送ができなくなったため、物流がトラック便へ転換した。このため、荷物は多い状況となったが、長距離車輛の確保が難しい状況となっている。（鹿児島県／運輸・倉庫）

◇人手不足の深刻化

- ・引き続き引き合いは多いが、自社も外注業者も人手不足で仕事量に追いつかない状況。（秋田県／建築）
- ・先月からの人手不足問題が、今月に入り現実的な問題となり、人材確保に悪戦苦闘している。（山形県／窯業・土石製品製造）
- ・深刻な警備員不足により従来からの取引先の業務が受注できず、今後業績が落ち込むことを懸念している。求人を行うが求職者は極めて少なく、退職人数と併せると雇用の増加につながらない。（山梨県／警備）
- ・全体的には、受注量は増加しているが、人手不足による残業の増加による人件費増、運賃及び原材料費の値上げなどにより、収益は厳しい。販売価格の値上げは、なかなか困難である。（奈良県／機械製造）
- ・原材料、重油等の資材の値上傾向による収益の悪化及び慢性的な担い手（人材）不足が顕著となっていることを訴える組合員が増え、大きな懸念材料となってきている。（大分県／コンクリート製品）

※後述の「Pick up!」ならびに「情報連絡員からの報告（要旨）」等も参照。

1. 景 況

		前月	当月	増減	傾向	
全体		▲ 20.2	▲ 18.7	1.5	上昇	↗
製造業		▲ 16.1	▲ 17.1	▲ 1.0	悪化	↘
非製造業		▲ 23.3	▲ 20.0	3.3	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種		10ポイント超	建設業			
		5～10ポイント	輸送機器、その他の製造業、卸売業			
DIが大きく悪化した業種		10ポイント超	化学・ゴム、その他の非製造業			
		5～10ポイント	紙・紙加工品			

表2. 業種別【景 況】DIの推移（前年同月比）

業 種 名	29/7	29/8	29/9	29/10	29/11	29/12	30/1	30/2	30/3	30/4	30/5	30/6	30/7	前月比
全 体	-17.9	-16.7	-17.0	-17.0	-15.0	-11.5	-16.8	-16.7	-14.8	-15.7	-17.6	-20.2	-18.7	1.5
製 造 業	-16.3	-15.9	-15.3	-13.1	-8.8	-7.4	-11.6	-13.4	-11.5	-12.4	-12.1	-16.1	-17.1	-1.0
食料品	-30.7	-30.0	-29.8	-27.5	-21.7	-19.1	-27.0	-29.8	-25.6	-27.2	-26.3	-30.1	-32.6	-2.5
繊維工業	-36.3	-33.1	-36.3	-31.7	-25.4	-22.1	-27.0	-17.8	-20.7	-19.3	-19.3	-24.0	-27.5	-3.5
木材・木製品	-19.2	-23.8	-17.7	-23.8	-21.4	-21.1	-25.5	-28.1	-28.8	-28.7	-24.1	-23.9	-28.4	-4.5
紙・紙加工品	-17.4	-25.0	-17.4	-8.3	-8.4	-9.6	-14.3	-33.3	-16.7	-27.3	-33.3	-34.8	-42.9	-8.1
印刷	-37.1	-41.3	-30.1	-31.1	-33.9	-29.5	-29.5	-29.5	-30.1	-37.1	-46.7	-40.3	-43.5	-3.2
化学・ゴム	3.5	-3.5	-3.5	-6.9	-3.5	3.5	3.5	3.3	6.9	0.0	0.0	-3.4	-17.3	-13.9
窯業・土石製品	-19.1	-16.9	-21.3	-17.8	-8.7	-14.8	-23.0	-32.1	-23.5	-16.4	-20.4	-25.2	-23.0	2.2
鉄鋼・金属	9.4	8.8	8.6	11.4	17.1	20.1	17.4	20.6	19.3	20.8	17.2	10.1	7.5	-2.6
一般機器	10.9	15.8	12.4	20.7	20.1	19.4	23.0	15.0	15.0	16.0	15.9	10.7	12.5	1.8
電気機器	0.0	7.9	18.4	14.3	22.8	25.0	11.4	23.6	18.1	6.1	26.7	18.7	21.2	2.5
輸送機器	-7.3	-14.6	-17.0	-7.5	2.5	2.4	7.5	2.4	2.5	-5.0	2.5	-7.3	2.4	9.7
その他の製造業	-30.2	-24.5	-23.5	-23.1	-27.7	-18.8	-23.1	-28.8	-20.7	-32.1	-24.0	-28.3	-19.2	9.1
非 製 造 業	-19.2	-17.3	-18.4	-20.0	-19.6	-14.7	-20.7	-19.3	-17.5	-18.2	-21.7	-23.3	-20.0	3.3
卸 売 業	-20.8	-17.8	-19.9	-21.9	-21.2	-14.2	-20.6	-19.2	-20.0	-24.9	-24.0	-28.1	-21.5	6.6
小 売 業	-27.6	-30.2	-33.8	-33.7	-35.9	-27.9	-30.3	-28.6	-28.1	-27.9	-28.1	-27.8	-25.2	2.6
商 店 街	-33.7	-33.6	-31.0	-32.9	-31.5	-23.1	-35.2	-38.7	-31.7	-30.7	-33.3	-36.8	-41.1	-4.3
サービス業	-11.1	-8.6	-12.3	-14.8	-10.4	-10.2	-15.2	-14.2	-8.9	-6.8	-13.1	-17.1	-17.1	0.0
建 設 業	-6.8	-0.4	1.6	1.2	-0.9	-0.4	-6.7	-2.5	-3.8	-8.4	-10.5	-9.6	2.1	11.7
運 輸 業	-18.0	-13.6	-10.6	-16.5	-14.1	-7.6	-16.7	-13.9	-10.5	-10.0	-27.3	-28.2	-23.7	4.5
その他の非製造業	-10.4	-7.2	-14.3	-10.7	-17.9	-7.4	-11.1	-3.7	-17.9	-11.1	-10.7	-7.2	-21.4	-14.2

Pick up!

「建設業」：一般需要の増加に加え、猛暑・災害対応等の受注が急増したこと等により前月比11.7ポイント上昇。景況DIは9カ月ぶりのプラスとなった。

「化学・ゴム」：原油高の状況下において原材料・物流・人員コストが引き続き上昇し、価格転嫁が進まないこと等から前月比13.9ポイント悪化。

2. 売 上 高

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 14.3	▲ 9.5	4.8	上昇	↗
製造業	▲ 7.1	▲ 7.9	▲ 0.8	悪化	↘
非製造業	▲ 19.7	▲ 10.8	8.9	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	電気機器、卸売業、小売業、建設業、その他の非製造業			
	5～10ポイント	鉄鋼・金属、運輸業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム、輸送機器			
	5～10ポイント	紙・紙加工品、窯業・土石製品、商店街			

表3. 業種別【売上高】D I の推移（前年同月比）

業 種 名	29/7	29/8	29/9	29/10	29/11	29/12	30/1	30/2	30/3	30/4	30/5	30/6	30/7	前月比
全 体	-10.0	-12.0	-9.7	-10.8	-2.9	-0.1	-12.4	-12.9	-9.1	-10.4	-11.5	-14.3	-9.5	4.8
製 造 業	-9.7	-9.1	-4.7	-3.8	3.5	4.1	-6.6	-8.2	-3.5	-6.2	-3.9	-7.1	-7.9	-0.8
食料品	-29.2	-21.8	-24.3	-21.5	-7.4	-4.0	-21.5	-27.8	-13.9	-20.6	-18.7	-26.5	-28.6	-2.1
繊維工業	-28.2	-22.0	-25.0	-17.1	-7.9	-13.1	-13.9	-9.7	-10.3	-17.7	-16.3	-16.0	-16.1	-0.1
木材・木製品	-13.4	-23.8	-5.9	-19.5	-11.1	-16.0	-19.4	-26.4	-20.3	-13.9	-20.5	-21.2	-23.2	-2.0
紙・紙加工品	-8.7	0.0	-26.1	-4.1	4.2	9.6	14.3	-23.8	-20.9	0.0	4.1	-4.4	-14.3	-9.9
印刷	-42.0	-41.2	-31.7	-31.2	-24.2	-18.0	-41.0	-34.5	-19.0	-35.5	-41.7	-38.7	-38.7	0.0
化学・ゴム	31.1	6.9	24.2	38.0	20.7	31.1	17.2	30.0	31.0	0.0	25.0	24.2	6.9	-17.3
窯業・土石製品	-8.1	-8.9	-5.2	-17.8	-2.9	-4.4	-32.6	-27.7	-22.8	-7.4	-5.3	-10.4	-15.6	-5.2
鉄鋼・金属	13.1	18.2	23.0	25.0	26.4	33.0	25.3	26.4	25.7	32.1	27.6	24.5	29.6	5.1
一般機器	25.5	20.1	18.6	31.5	38.6	37.2	32.8	24.8	28.3	16.0	21.4	21.2	25.9	4.7
電気機器	5.2	23.7	42.1	42.8	31.4	19.4	25.7	34.2	18.2	9.1	40.0	3.2	27.2	24.0
輸送機器	0.0	-4.9	-2.4	5.0	7.5	7.3	12.5	2.4	12.1	0.0	12.2	9.8	-2.4	-12.2
その他の製造業	-30.2	-35.8	-19.7	-17.3	-14.8	-7.5	-21.1	-19.2	-18.9	-32.1	-27.7	-18.9	-21.2	-2.3
非 製 造 業	-10.3	-14.1	-13.4	-16.1	-7.7	-3.4	-16.8	-16.4	-13.3	-13.7	-17.4	-19.7	-10.8	8.9
卸 売 業	-12.6	-22.9	-16.7	-13.2	-6.0	6.0	-11.4	-11.4	-6.4	-18.9	-14.8	-21.0	-1.8	19.2
小 売 業	-16.1	-21.9	-22.1	-29.3	-21.1	-8.0	-18.6	-16.0	-25.2	-26.6	-23.7	-28.4	-9.5	18.9
商店街	-25.9	-25.6	-29.2	-41.4	-18.8	-16.5	-33.3	-41.0	-21.5	-18.1	-29.1	-26.4	-34.2	-7.8
サービス業	4.0	-3.2	-3.9	-11.2	-4.0	-8.0	-22.0	-19.4	-6.7	-5.1	-15.3	-17.5	-21.1	-3.6
建設業	-10.9	-5.0	-7.5	-0.4	3.3	-3.8	-10.6	-5.4	-14.7	-8.5	-8.9	-11.4	1.2	12.6
運輸業	0.0	-5.3	0.8	1.5	11.2	20.6	-0.8	-10.7	0.0	3.1	-12.8	-10.7	-5.3	5.4
その他の非製造業	-17.3	-14.3	-7.2	3.6	-14.3	-7.4	-18.5	0.0	7.1	7.4	-3.6	0.0	10.7	10.7

Pick up!

「電気機器」：引き続き受注が堅調であり、**前月比24.0ポイント上昇**。一方、人員確保が困難な状況が続いていること等が影響し、収益状況D Iについては悪化。先行きを警戒する声も見られた。

「輸送機器」：造船や機械部門等の需要が一段落したことに加え、豪雨、人手不足、猛暑対応コストの発生等も影響し、**前月比12.2ポイント悪化**。

3. 収益状況

	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 21.8	▲ 19.9	1.9	上昇	↗
製造業	▲ 16.9	▲ 18.1	▲ 1.2	悪化	↘
非製造業	▲ 25.7	▲ 21.4	4.3	上昇	↗
DIが大きく上昇した業種	10ポイント超	卸売業			
	5～10ポイント	木材・木製品、鉄鋼・金属、小売業、建設業			
DIが大きく悪化した業種	10ポイント超	化学・ゴム、その他の非製造業			
	5～10ポイント	食料品、電気機器、輸送機器			

表4. 業種別【収益状況】D Iの推移（前年同月比）

業 種 名	29/7	29/8	29/9	29/10	29/11	29/12	30/1	30/2	30/3	30/4	30/5	30/6	30/7	前月比
全 体	-15.6	-16.8	-16.7	-17.8	-14.1	-11.7	-19.1	-19.2	-16.0	-17.1	-19.9	-21.8	-19.9	1.9
製 造 業	-15.0	-16.6	-14.4	-14.0	-9.7	-8.6	-15.2	-15.8	-13.7	-14.5	-13.5	-16.9	-18.1	-1.2
食料品	-25.6	-27.5	-24.7	-25.5	-19.7	-16.1	-25.0	-29.8	-23.1	-24.6	-23.7	-28.1	-37.2	-9.1
繊維工業	-28.3	-30.0	-29.9	-26.0	-17.5	-18.8	-23.0	-15.3	-17.5	-25.3	-27.9	-25.6	-24.2	1.4
木材・木製品	-22.5	-24.6	-15.1	-26.3	-22.3	-24.4	-29.7	-32.3	-31.3	-20.9	-25.9	-32.7	-25.0	7.7
紙・紙加工品	-13.0	-20.9	-21.8	-25.0	-25.0	-14.3	-38.1	-57.1	-54.1	-36.4	-41.6	-39.2	-42.8	-3.6
印刷	-32.3	-42.8	-31.7	-31.1	-29.1	-19.7	-27.9	-26.2	-22.3	-37.1	-33.4	-38.7	-43.5	-4.8
化学・ゴム	-6.9	-20.7	-17.3	-13.8	-10.4	-6.9	-3.4	-3.3	-13.8	-17.2	-5.6	-17.2	-31.1	-13.9
窯業・土石製品	-13.2	-13.3	-13.2	-17.7	-8.0	-8.8	-29.6	-28.4	-15.4	-14.2	-9.1	-14.0	-16.3	-2.3
鉄鋼・金属	2.2	1.4	1.4	2.1	6.4	5.7	7.2	6.6	5.0	7.9	5.6	5.0	14.1	9.1
一般機器	7.3	10.6	4.4	16.2	17.6	17.7	14.1	8.0	8.9	8.8	8.4	5.3	4.5	-0.8
電気機器	-2.6	5.3	18.4	28.5	20.0	13.9	8.5	15.8	3.0	0.0	3.4	3.1	-3.0	-6.1
輸送機器	-14.7	-24.3	-14.7	-7.5	-2.5	-4.9	0.0	7.4	7.3	-2.5	12.2	-2.5	-9.8	-7.3
その他の製造業	-16.9	-15.1	-19.7	-21.1	-25.9	-18.8	-21.1	-21.1	-20.8	-26.4	-22.2	-20.7	-21.1	-0.4
非 製 造 業	-16.0	-17.0	-18.6	-20.7	-17.5	-14.1	-22.0	-21.8	-17.8	-19.1	-24.9	-25.7	-21.4	4.3
卸 売 業	-21.3	-20.6	-24.5	-21.5	-14.7	-11.5	-17.4	-15.5	-16.8	-19.8	-22.1	-27.1	-13.6	13.5
小 売 業	-26.4	-28.4	-31.2	-31.1	-33.0	-21.7	-27.7	-29.2	-27.8	-26.1	-28.9	-31.6	-25.2	6.4
商 店 街	-27.7	-26.2	-29.9	-37.8	-27.2	-23.2	-35.2	-38.7	-25.1	-25.0	-27.8	-32.5	-36.0	-3.5
サ ー ビ ス 業	-2.9	-6.5	-8.8	-13.7	-6.5	-12.3	-19.9	-17.5	-10.7	-13.1	-24.8	-21.4	-21.9	-0.5
建 設 業	-9.3	-4.2	-6.7	-4.2	-1.2	-3.0	-8.4	-8.0	-7.1	-11.0	-15.2	-13.9	-6.9	7.0
運 輸 業	-6.8	-15.1	-8.3	-19.5	-23.1	-11.4	-26.5	-27.0	-19.5	-21.6	-34.8	-33.6	-31.2	2.4
その他の非製造業	-10.4	-17.9	-7.2	0.0	-14.3	-11.1	-25.9	-14.8	-14.3	-11.1	-14.3	-7.2	-17.9	-10.7

Pick up!

「卸売業」：猛暑の影響が業種毎の明暗を分けたが、エアコン・清涼飲料・冷感商材等の需要増加商品や、青果等の単価上昇商品の取扱事業者の収益状況が好転し、**前月比13.5ポイント上昇**。

「食料品」：猛暑と豪雨により飲食店・宿泊施設等における食料品の需要が大幅に減少。原材料費の高騰にも繋がり、収益状況D Iは**前月比9.1ポイント悪化**。

4. 資金繰り、販売価格、取引条件、設備操業度、雇用人員、在庫数量

(1) 資金繰り	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 10.2	▲ 9.8	0.4	上昇	↗
製造業	▲ 7.9	▲ 7.8	0.1	上昇	↗
非製造業	▲ 12.0	▲ 11.3	0.7	上昇	↗
(2) 販売価格	前月	当月	増減	傾向	
全体	1.9	4.4	2.5	上昇	↗
製造業	2.1	4.5	2.4	上昇	↗
非製造業	1.6	4.2	2.6	上昇	↗
(3) 取引条件	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 6.4	▲ 6.9	▲ 0.5	悪化	↘
製造業	▲ 4.0	▲ 5.2	▲ 1.2	悪化	↘
非製造業	▲ 8.2	▲ 8.1	0.1	上昇	↗
(4) 設備操業度	前月	当月	増減	傾向	
製造業	▲ 3.3	▲ 3.8	▲ 0.5	悪化	↘
(5) 雇用人員	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 8.0	▲ 8.1	▲ 0.1	悪化	↘
製造業	▲ 4.4	▲ 3.2	1.2	上昇	↗
非製造業	▲ 10.6	▲ 11.9	▲ 1.3	悪化	↘
(6) 在庫数量	前月	当月	増減	傾向	
全体	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 1.5	悪化	↘
製造業	▲ 3.1	▲ 2.9	0.2	上昇	↗
非製造業	▲ 6.7	▲ 10.6	▲ 3.9	悪化	↘

~~Calendar 2018 国内外の主なトピックス（平成30年8月）~~

8月1日（水）

大手企業の夏の賞与・一時金（ボーナス）の最終集計結果（経団連）：組合員の平均受給額は昨年夏に比べ8.62%増の95万3905円で、過去最高となった。

8月2日（木）

米連邦準備制度理事会（FRB）が連邦公開市場委員会（FOMC）で、政策金利を現行の年1.75～2.0%に据え置くと全会一致で決定。景気判断は「堅調なペース」から「強いペースで拡大」に上方修正された。

8月8日（水）

7月の景気ウォッチャー調査（内閣府）：現状の景況感を示す指数（季節調整値）は2カ月ぶりに悪化。猛暑や豪雨災害が景況感を下押しし、2016年9月以来の低水準となった。

8月9日（木）

6月の機械受注統計（内閣府。季節調整値）：「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比8.8%減と、2カ月連続のマイナス（4月の大幅増後の反動も影響）。内閣府は基調判断を「持ち直しの動きに足踏みがみられる」へ1年1カ月ぶりに下方修正した。

8月10日（金）

30年4～6月GDP速報値：実質年率1.9%増と2四半期ぶりのプラス成長。賃金の伸びなどを背景に個人消費を中心に内需が持ち直した。企業の設備投資も引き続き堅調。

8月10日（金）

7月の国内企業物価指数（日銀速報）：前年同月比3・1%上昇の101・8となり、19カ月連続で前年を上回った。原油価格上昇や豪雨・猛暑等により農林水産物の供給が減り、価格が上がったこと等が影響。

8月11日（土）

対米政治経済の悪化が影響し、トルコ通貨が年初から40%超の急落。新興国通貨等のマーケットにも影響が波及した。

8月11日（土）

日米両政府が閣僚級の新通商協議（FFR）の2日目の会合を開催。貿易促進に向けた協議の継続で一致したが、自動車輸入制限については未決着となった。

8月24日（金）

7月全国消費者物価指数（CPI）発表予定。

8月31日（金）

7月有効求人倍率、失業率、鉱工業生産（速報値）、新設住宅着工戸数等発表予定。

表5. 主要指標の業種別 D I(前年同月比)

(平成30年7月末現在)

	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
全 体	-18.7	-9.5	-19.9	4.4	-6.9	-9.8	-3.8	-8.1	-6.0
製 造 業	-17.1	-7.9	-18.1	4.5	-5.2	-7.8	-3.8	-3.2	-2.9
非 製 造 業	-20.0	-10.8	-21.4	4.2	-8.1	-11.3		-11.9	-10.6

(製 造 業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
食 料 品	-32.6	-28.6	-37.2	5.6	-8.2	-17.4	-14.3	-11.7	-8.2
繊 維 工 業	-27.5	-16.1	-24.2	4.1	-7.3	-12.9	-8.9	-14.5	-8.0
木 材 ・ 木 製 品	-28.4	-23.2	-25.0	9.4	-6.0	-12.1	-15.5	-0.9	-5.2
紙 ・ 紙 加 工 品	-42.9	-14.3	-42.8	19.0	0.0	-4.8	-23.8	-19.1	0.0
印 刷	-43.5	-38.7	-43.5	-19.4	-24.2	-22.6	-37.1	-17.7	-8.1
化 学 ・ ゴ ム	-17.3	6.9	-31.1	-3.4	-13.8	-13.8	3.5	13.8	6.9
窯業・土石製品	-23.0	-15.6	-16.3	16.3	0.0	-7.4	-12.6	-8.2	-4.5
鉄 鋼 ・ 金 属	7.5	29.6	14.1	9.7	-1.5	3.7	25.9	5.9	3.7
一 般 機 器	12.5	25.9	4.5	0.9	1.8	8.0	17.0	9.9	3.6
電 気 機 器	21.2	27.2	-3.0	-6.0	3.0	9.1	30.3	21.2	6.1
輸 送 機 器	2.4	-2.4	-9.8	-7.4	-4.9	2.4	4.9	12.2	-4.9
その他の製造業	-19.2	-21.2	-21.1	-1.9	-5.8	-13.5	-9.6	-1.9	1.9

(非製造業)

業 種 名	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	設備操業度	雇用人員	在庫数量
卸 売 業	-21.5	-1.8	-13.6	8.4	-8.0	-5.2		-9.3	-8.9
小 売 業	-25.2	-9.5	-25.2	15.4	-14.5	-16.3		-16.0	-10.1
商 店 街	-41.1	-34.2	-36.0	-7.0	-11.4	-24.1		-12.7	-13.9
サ ー ビ ス 業	-17.1	-21.1	-21.9	-3.3	-4.7	-12.0		-9.5	
建 設 業	2.1	1.2	-6.9	-0.9	-2.5	-3.0		-6.5	
運 輸 業	-23.7	-5.3	-31.2	8.4	-6.1	-9.1		-21.4	
	-21.4	10.7	-17.9	0.0	-3.6	0.0		-3.6	

表6. 主要指標の業種別景況調査総括表(前年同月比)

(平成 30年 7月 末現在)
(単位: %)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
全 体	8.6	64.1	27.3	22.7	45.1	32.2	9.8	60.5	29.7	12.4	79.6	8.0	2.3	88.4	9.2	4.4	81.3	14.2	14.2	67.8	18.0	5.8	80.3	13.9	9.9	74.3	15.9
製 造 業	9.4	64.1	26.5	23.2	45.7	31.1	9.8	62.2	27.9	10.4	83.7	5.9	2.3	90.2	7.5	5.0	82.2	12.8	14.2	67.8	18.0	8.6	79.5	11.8	10.6	75.9	13.5
非 製 造 業	7.9	64.2	27.9	22.3	44.5	33.1	9.7	59.2	31.1	13.9	76.4	9.7	2.4	87.1	10.5	4.0	80.7	15.3	0.0	0.0	0.0	3.6	81.0	15.5	8.7	71.9	19.3

(製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
食 料 品	4.6	58.2	37.2	15.8	39.8	44.4	4.1	54.6	41.3	9.7	86.2	4.1	0.5	90.8	8.7	1.0	80.6	18.4	5.6	74.5	19.9	3.6	81.1	15.3	10.7	70.4	18.9
織 維 工 業	4.8	62.9	32.3	12.9	58.1	29.0	4.8	66.1	29.0	9.7	84.7	5.6	4.0	84.7	11.3	2.4	82.3	15.3	10.5	70.2	19.4	2.4	80.6	16.9	10.5	71.0	18.5
木 材 ・ 木 製 品	5.2	61.2	33.6	14.7	47.4	37.9	6.0	62.9	31.0	17.2	75.0	7.8	0.0	94.0	6.0	2.6	82.8	14.7	5.2	74.1	20.7	10.3	78.4	11.2	17.2	60.3	22.4
紙 ・ 紙 加 工 品	0.0	57.1	42.9	23.8	38.1	38.1	14.3	28.6	57.1	23.8	71.4	4.8	4.8	90.5	4.8	9.5	76.2	14.3	9.5	57.1	33.3	9.5	61.9	28.6	14.3	71.4	14.3
印 刷	0.0	56.5	43.5	6.5	48.4	45.2	0.0	56.5	43.5	0.0	80.6	19.4	0.0	75.8	24.2	0.0	77.4	22.6	1.6	59.7	38.7	0.0	82.3	17.7	0.0	91.9	8.1
化 学 ・ ゴ ム	3.4	75.9	20.7	27.6	51.7	20.7	3.4	62.1	34.5	6.9	82.8	10.3	0.0	86.2	13.8	0.0	86.2	13.8	20.7	62.1	17.2	20.7	72.4	6.9	17.2	72.4	10.3
窯 業 ・ 土 石 製 品	8.9	59.3	31.9	25.9	32.6	41.5	12.6	58.5	28.9	19.3	77.8	3.0	4.4	91.1	4.4	5.9	80.7	13.3	11.1	65.2	23.7	3.7	84.4	11.9	8.1	79.3	12.6
鉄 鋼 ・ 金 属	15.6	76.3	8.1	40.0	49.6	10.4	21.5	71.1	7.4	11.9	85.9	2.2	1.5	95.6	3.0	8.9	85.9	5.2	32.6	60.7	6.7	13.3	79.3	7.4	10.4	83.0	6.7
一 般 機 器	19.6	73.2	7.1	38.4	49.1	12.5	17.0	70.5	12.5	3.6	93.8	2.7	3.6	94.6	1.8	10.7	86.6	2.7	25.0	67.0	8.0	17.0	75.9	7.1	11.6	80.4	8.0
電 気 機 器	30.3	60.6	9.1	42.4	42.4	15.2	15.2	66.7	18.2	6.1	81.8	12.1	3.0	97.0	0.0	18.2	72.7	9.1	36.4	57.6	6.1	24.2	72.7	3.0	15.2	75.8	9.1
輸 送 機 器	19.5	63.4	17.1	24.4	48.8	26.8	14.6	61.0	24.4	2.4	87.8	9.8	7.3	80.5	12.2	7.3	87.8	4.9	19.5	65.9	14.6	24.4	63.4	12.2	2.4	90.2	7.3
その他の製造業	7.7	65.4	26.9	11.5	55.8	32.7	5.8	67.3	26.9	5.8	86.5	7.7	1.9	90.4	7.7	3.8	78.8	17.3	7.7	75.0	17.3	1.9	94.2	3.8	11.5	78.8	9.6

(非製造業)

業 種	業界の景況			売上高			収益状況			販売価格			取引条件			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			在庫数量		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	増加	不変	減少
卸 売 業	6.5	65.4	28.0	29.0	40.2	30.8	12.7	61.0	28.3	20.5	67.4	12.1	2.3	87.4	10.3	3.7	87.4	8.9				4.7	81.3	14.0	10.7	69.6	19.6
小 売 業	9.2	56.4	34.4	29.4	31.8	38.9	13.4	48.1	38.6	27.0	61.4	11.6	2.1	81.3	16.6	6.5	70.6	22.8				2.1	79.8	18.1	8.9	72.1	19.0
商 店 街	1.9	55.1	43.0	12.0	41.8	46.2	5.1	53.8	41.1	6.3	80.4	13.3	0.6	87.3	12.0	2.5	70.9	26.6				1.9	83.5	14.6	5.7	74.7	19.6
サ ー ビ ス 業	6.6	69.7	23.7	15.0	48.9	36.1	7.3	63.5	29.2	5.8	85.0	9.1	2.6	90.1	7.3	2.6	82.8	14.6				4.7	81.0	14.2			
建 設 業	13.2	75.6	11.1	20.9	59.4	19.7	8.1	76.9	15.0	6.4	86.3	7.3	4.3	88.9	6.8	3.0	91.0	6.0				3.8	85.9	10.3			
運 輸 業	8.4	59.5	32.1	22.9	48.9	28.2	11.5	45.8	42.7	11.5	85.5	3.1	2.3	89.3	8.4	4.6	81.7	13.7				5.3	67.9	26.7			
その他の非製造業	3.6	71.4	25.0	25.0	60.7	14.3	0.0	82.1	17.9	3.6	92.9	3.6	0.0	96.4	3.6	3.6	92.9	3.6				0.0	96.4	3.6			

表7. 全国及び各地域別の【業界の景況・売上高・収益状況】(前年同月比)

(平成 30年 7月 末現在)

〔全 国〕

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
業 種									
全 体	8.6	64.1	27.3	22.7	45.1	32.2	9.8	60.5	29.7
製造業	9.4	64.1	26.5	23.2	45.7	31.1	9.8	62.2	27.9
非製造業	7.9	64.2	27.9	22.3	44.5	33.1	9.7	59.2	31.1

〔近畿地方〕

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	7.4	61.5	31.1	23.3	41.5	35.2	-11.9	8.5	56.3
製造業	10.3	57.9	31.7	25.4	35.7	38.9	-13.5	7.1	54.8
非製造業	4.9	64.6	30.6	21.5	46.5	31.9	-10.4	9.7	57.6

滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県

〔北海道・東北地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	8.1	63.5	28.4	22.3	43.7	34.0	-11.7	10.9	58.5
製造業	7.7	60.8	31.5	20.0	37.7	42.3	-22.3	10.0	56.9
非製造業	8.3	65.1	26.6	23.6	47.2	29.3	-5.7	11.4	59.4

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

〔中国地方〕

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	5.4	69.7	24.9	21.2	38.6	40.2	-19.0	7.9	59.3
製造業	5.4	75.9	18.8	21.4	50.0	28.6	-7.2	8.0	69.6
非製造業	5.4	64.3	30.2	20.9	28.7	50.4	-29.5	7.8	50.4

〔関東・甲信越地方〕

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	10.9	63.4	25.7	23.5	46.3	30.2	-6.7	11.4	62.3
製造業	10.0	62.8	27.1	24.5	45.0	30.5	-6.0	10.8	63.9
非製造業	11.5	63.8	24.7	22.8	47.2	30.0	-7.2	11.8	61.1

〔四国地方〕

徳島県、香川県、愛媛県、高知県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	6.9	59.4	33.7	17.1	49.7	33.1	-16.0	7.4	57.7
製造業	3.8	64.1	32.1	11.5	57.7	30.8	-19.3	3.8	66.7
非製造業	9.3	55.7	35.1	21.6	43.3	35.1	-13.5	10.3	50.5

〔東海・北陸地方〕

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県

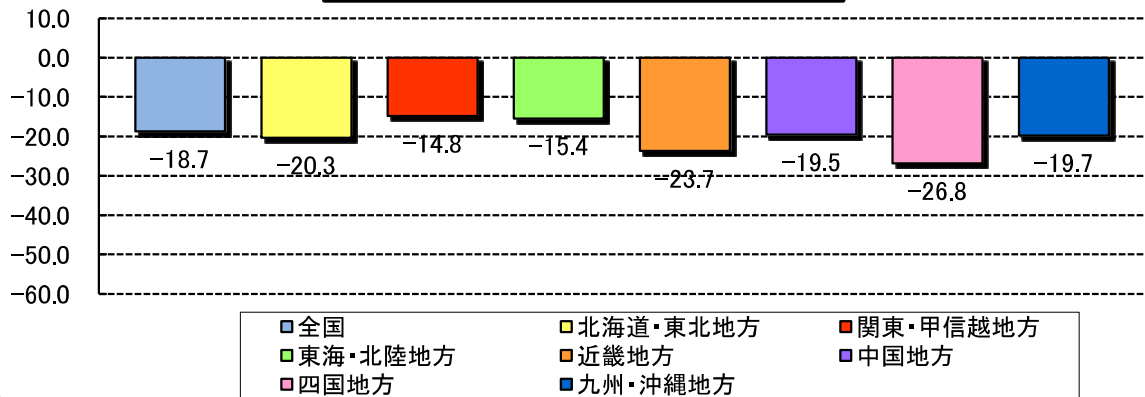
項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	11.1	62.5	26.5	24.7	45.8	29.6	-4.9	10.8	59.8
製造業	15.1	60.9	24.0	29.2	43.8	27.1	2.1	14.6	58.3
非製造業	7.1	64.0	28.9	20.3	47.7	32.0	-11.7	7.1	61.2

〔九州・沖縄地方〕

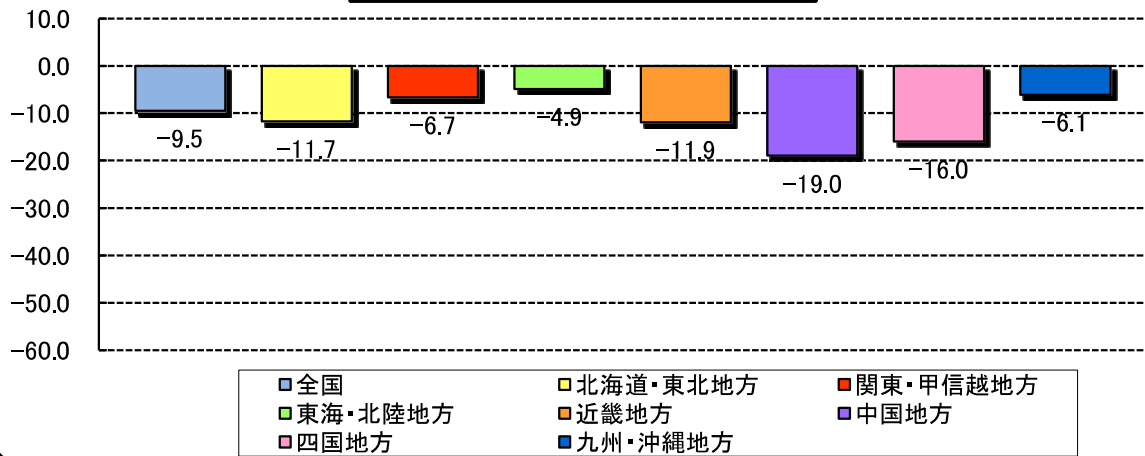
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

項 目	業界の景況			売上高			収益状況		
	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	DI	好転	悪化
業 種									
全 体	5.9	68.5	25.6	22.8	48.3	28.9	-6.1	8.1	65.4
製造業	7.4	69.8	22.8	21.5	55.7	22.8	-1.3	8.7	67.1
非製造業	4.8	67.6	27.5	23.7	43.0	33.3	-9.6	7.7	64.3

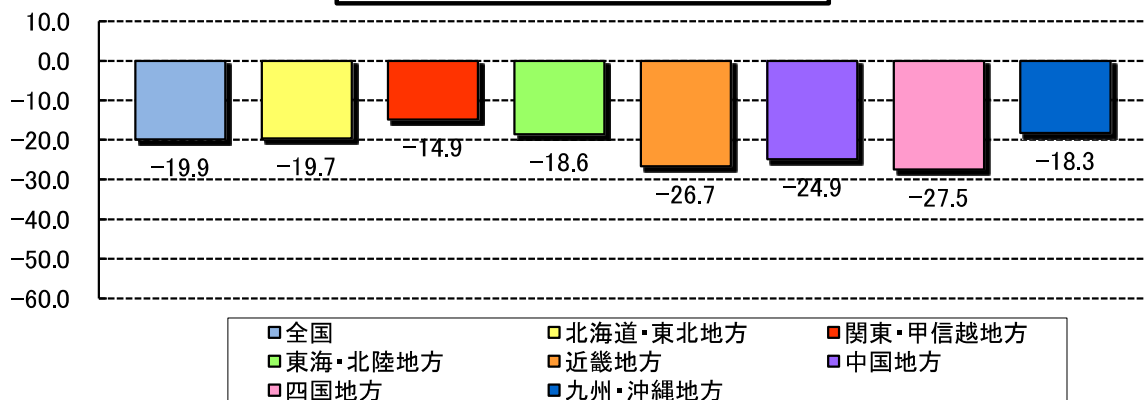
全国及び各地域別の【業況DI(全体)】
(平成30年7月末現在・前年同月比)



全国及び各地域別の【売上高DI(全体)】
(平成30年7月末現在・前年同月比)



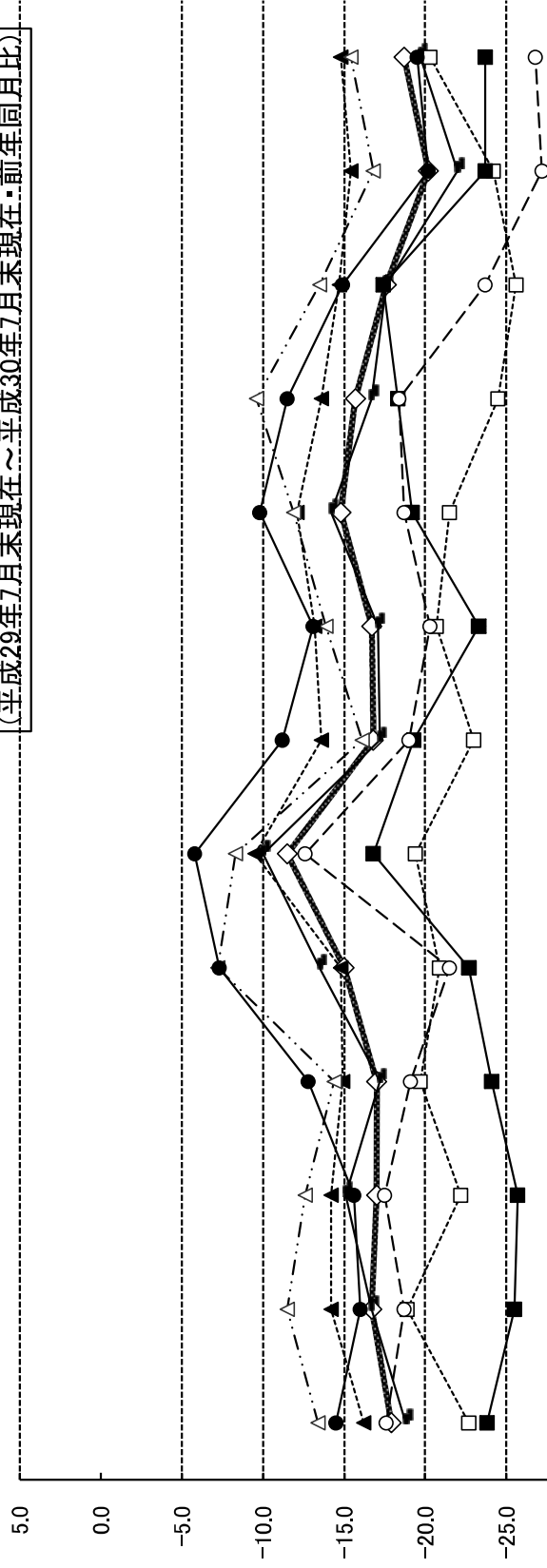
全国及び各地域別の【収益状況DI(全体)】
(平成30年7月末現在・前年同月比)



〔北海道・東北地方〕
〔関東・甲信越地方〕
〔東海・北陸地方〕
〔近畿地方〕
〔中国地方〕
〔四国地方〕
〔九州・沖縄地方〕

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県
静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
徳島県、香川県、愛媛県、高知県
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

全国及び各地域別の【業界の景況DI(全体)の推移】
(平成29年7月末現在～平成30年7月末現在・前年同月比)



	7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	30年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末
系列1	-17.9	-16.7	-17.0	-17.0	-15.0	-11.5	-16.8	-16.7	-14.8	-15.7	-17.6	-20.2	-18.7
系列2	-22.7	-18.9	-22.2	-19.7	-20.9	-19.4	-23.0	-20.7	-21.5	-24.5	-25.6	-24.2	-20.3
系列3	-16.2	-14.2	-14.2	-14.9	-14.8	-9.5	-13.6	-13.2	-12.1	-13.6	-14.7	-15.4	-14.8
系列4	-13.4	-11.5	-12.6	-14.4	-7.2	-8.3	-16.1	-13.9	-11.9	-9.6	-13.5	-16.8	-15.4
系列5	-23.8	-25.5	-25.7	-24.1	-22.7	-16.8	-19.3	-23.3	-19.2	-18.3	-17.4	-23.7	-23.7
系列6	-14.5	-16.0	-15.6	-12.8	-7.3	-5.8	-11.2	-13.1	-9.8	-11.5	-14.9	-20.2	-19.5
系列7	-17.6	-18.7	-17.5	-19.1	-21.5	-12.6	-19.0	-20.3	-18.7	-18.4	-23.7	-27.2	-26.8
系列8	-18.8	-16.7	-15.1	-17.2	-13.5	-10.0	-17.2	-17.1	-14.2	-16.7	-17.6	-22.0	-19.7

〔北海道・東北地方(系列2)〕 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 〔関東・甲信越地方(系列3)〕 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
 〔東海・北陸地方(系列4)〕 静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県
 〔近畿地方(系列5)〕 滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
 〔中国地方(系列6)〕 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
 〔四国地方(系列7)〕 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
 〔九州・沖縄地方(系列8)〕 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※系列1は全国の数値です。

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. < 福 島 県 漬物 >
猛暑により野菜が育たないことから白菜・キャベツ等が高騰し、原料高となって利益が圧迫されている。また、人件費の高騰で困っている。
2. < 茨 城 県 納豆 >
暑さの影響により納豆の消費が減少。秋頃より資材等の値上げ要請がきているので、製品を値上げしても厳しくなるのではないかとと思われる。人手不足で大変厳しい組合員もいる。
3. < 群 馬 県 パン・菓子製造業 >
猛暑の影響で客数が激減し、売上は10%～20%減。ここ30年間で最悪の状況。
4. < 愛 知 県 菓子 >
小麦、乳製品等の原料価格の上昇や高止まり、人手不足等、依然難しい経営環境に置かれている。特に小規模事業者では客単価が伸びず、苦戦している。
5. < 鳥 取 県 一般食料品製造業 >
同業他社との競争により販売単価は低下。取引条件も悪化。西日本豪雨により、一部原材料が1週間程度入荷ストップし生産が滞った県内事業所もあった。
6. < 愛 媛 県 水産加工 >
西日本豪雨災害の影響で、夏のイベント(祭り等)が中止になり、市内の飲食店・宿泊施設などの需要が落ち込んでいる。

繊維・同製品製造業

7. < 秋 田 県 繊維 >
従業員の減少により生産能力が低下し、受注要請に応えられない状況が続いている。生産コストが上昇の一途であり、加工賃は据え置かれたままとなっているため経営的には非常に厳しい状況。
8. < 山 形 県 繊維工業 >
今年の夏場は特に、猛暑や豪雨の影響で商品が売れず厳しい状況であった。生産数量、操業共に低下していることもあり、原材料のコストアップ分を商品価格に転嫁できない。
9. < 東 京 都 ニット製品製造業 >
例年より早い梅雨明けや、連日の猛暑による気温上昇等が後押しとなり、夏物衣料の需要は高まり好転した。この先、西日本豪雨の影響による消費の低迷を懸念している。
10. < 福 井 県 織物工業 >
コスト増に対する転嫁対策に業界を挙げて取り組んでいるが、長年の商慣行の改善は難しく、受注は増えているが経営改善につながらない。人材の確保も困難な状況が続いている。
11. < 兵 庫 県 繊維工業 >
生産数量は依然として対前年同月比で減少となっている。これ以上に減少傾向が続くと企業経営が困難となり廃業者がでる。
12. < 香 川 県 手袋 >
2018年秋冬の受注は、昨年度の記録的厳冬にもかかわらず対前年比10%減と苦戦している。夏用UV手袋は、猛暑の影響で順調に推移している。

木材・木製品製造業

13. < 北 海 道 一般製材 >
原木入荷の滞りが、工場の生産性に影響を及ぼしており売上が落ちているが、春先に価格見直しを実施して頂いたお蔭で収益状況は維持できている。
14. < 秋 田 県 一般製材 >
原木の入荷量が前年に比較して、極端に減少している。原木の出材量の不足感から公売の入札価格も高めで推移し、収益面を悪化させている。
15. < 群 馬 県 製材業・木製品製造業 >
荷動きは良好だが、価格上昇にはならない。原材料不足と人員不足により生産性はダウンしている。
16. < 石 川 県 製材業、木製品製造業 >
7月の売上は昨年と比較すると40%増加したが、粗利率の低い品物が6月と同じく多かったことに加え、電気・燃料油料金の高騰により、収益は6月と同じ低水準であった。

17. < 京 都 府 製材業・木製品製造業 >

春先からの値上げの動きが徐々に浸透してきた結果、販売価格、売上ともに上昇しているが、収益には貢献していない。

18. < 和 歌 山 県 家具製造業 >

売上高が低迷している中、7月は異常気象（猛暑・豪雨）により顧客の客足が伸びず、前年同月に比べ大幅な売上高の減少となった。

紙・紙加工品製造業

19. < 群 馬 県 紙製容器製造業 >

7月は、猛暑の影響が全く不調。一部食品関連を除き全くと言ってよいほど動きがなく、軒並み数量を減らしている状態。

20. < 愛 知 県 段ボール >

猛暑の影響から飲料関係等は好調に推移しているが、青果物は異常高温のため低調。中小段ボールメーカーは原紙値上げ等を含めた製品の価格転嫁が不十分であり、収益に影響している。

21. < 三 重 県 紙器段ボール >

猛暑の影響で冷蔵食品向けの段ボールケースが受注増。青果物向けの出方が少しマイナスであるが、全体としては昨年を上回る数量の生産となった。

22. < 大 阪 府 古紙収集加工業 >

7月は梅雨明け後の豪雨や猛暑もあり夏枯れの状態となった。市中からの発生状況は極めて悪い。反面、在阪製紙メーカーの稼働はフル生産に近く需給関係にタイト感が強まっている。

23. < 愛 媛 県 紙製品 >

製紙メーカーは、新聞紙や雑誌等の情報用紙の激減、パルプ高、円安等を原因として、重袋等の一部包装用紙を半ば強引に値上げした模様。採算悪化を理由としたマシンの停止も相次いでいる。

24. < 高 知 県 機械すき紙製造業 >

大手家庭紙メーカーの設備増強等の影響か、汎用品の価格上昇が見られない。原材料高、製品安の状況が長期化しており、収益面で厳しい環境となっている。

印刷

25. < 秋 田 県 印刷・同関連業印刷 >

需要は停滞しており安値受注も後を絶たず、点数、量とも回復を実感するに至っていない。来年実施される元号変更、消費税増税に関する調整事項が発生している。

26. < 東 京 都 印刷業 >

コスト増に対応した価格転嫁が出来ない。特に大企業は、話し合いにすら応じない。

27. < 滋 賀 県 印刷・同関連業印刷 >

夏季売り出しや夏休みイベント時期だが、広告のSNSやネット利用が拡大し、大ロットの仕事は減少傾向。小ロット短納期でニーズに対応するよう努めている。

28. < 兵 庫 県 印刷・同関連業印刷 >

毎年7・8月は閑散期ではあるが、その先の明るい兆しは見えず、8月も引き続き厳しくなりそう。顧客のペーパーレス化の浸透が要因と考えている。

29. < 徳 島 県 印刷・同関連業印刷 >

7月下旬にかけては台風と暑さの影響か、ほとんど動きがないという声が多い。宅配便を含む運賃の値上げが商品価格に転嫁できずにいる会社が多く、取引条件、収益状況共に悪化している。

30. < 香 川 県 印刷 >

前年度7月並みに推移しているが、受注量、売上高ともに低水準であるため楽観できない状況。各事業所が鋭意努力して、現状打開策を色々と打ち出した結果が現状維持となっている。

化学・ゴム

31. < 東 京 都 ゴム製品製造業 >

自動車部品を製造している組合員においては、好調なメーカーと不調なメーカーとの差が顕著に出ている。

32. < 神 奈 川 県 石油製品 >

中東情勢の不安定化や政情混乱などから原油が値上がりし、これに合わせてナフサ価格も値上がりしており、本年は原材料費等が増加している。

33. < 兵 庫 県 化学・ゴム製造業 >

製造機材、部品、溶剤、梱包材、輸送料金等の値上げを通知されたことから、品質の保持・開発のため、7月1日より値上げに踏み切った。営業にも大きな影響が出てくることが予想される。

34. < 島 根 県 プラスチック製品製造 >

引き続き、原材料・物流コストが上昇しており、思うように売価への転嫁が進んでいない実情から、経営環境の悪化は否めない状況。

35. < 岡 山 県 ゴム製品製造業 >

豪雨災害による取引先への影響は最小限に抑えたものの、人員の採用難・人件費上昇、原材料市況の高値推移等々は変わらず、収益は前年同期比悪化。

36. < 広 島 県 プラスチック製品製造業 >

平成30年7月豪雨による直接・間接被害やマツダの操業停止等を受け、自動車関連は売上減少となっている。

窯業・土石製品製造業

37. < 山 形 県 窯業・土石製品製造業 >

先月からの人手不足問題が、今月に入り現実的な問題となり、人材確保に悪戦苦闘している。また、公共事業（建設工事）が減少してきており、今後の先行きが心配である。

38. < 神 奈 川 県 砕石 >

月後半からの猛暑で、工事の動きが潜伏している。市況に縮み感は見受けられないものの、地域によっては需要の波が届かず、県内全体出荷は増加とは言えない状況。

39. < 三 重 県 伊賀焼 >

今年の7月は連日30度を越す猛暑が続く、いずれも入館者数、陶芸体験とも昨年に比べ大きく減少した。また2度の台風の影響もあった。

40. < 山 口 県 石工品製造業 >

豪雨による作業の遅れに加え、猛暑により現場作業が捗らない状況。納期が間に合わず、数件先延ばしにした。熱中症対策等、体調管理をしながら仕事に臨む必要がある。

41. < 福 岡 県 砕石製造業 >

燃料費や火薬費等生産コストが上昇しているが、砕石単価への転嫁が困難な状況にある。

42. < 大 分 県 コンクリート製品 >

原材料（鉄筋、骨材、セメント）、重油等の資材の値上傾向による収益の悪化及び慢性的な担い手（人材）不足が顕著となっていることを訴える組合員が増え、大きな懸念材料となってきている。

鉄鋼・金属製造業

43. < 群 馬 県 金属皮膜・彫刻業、熱処理業 >

半導体関連、自動車部品、電子部品分野がやや好調であるため、景況感は改善傾向にあるが、大企業との生産性・収益性の格差は拡大している様子。

44. < 千 葉 県 鉄工 >

受注は比較的良好な状況が継続。内需関連ではインフラ整備や人手不足対策としての機械化・省力化関連の引き合いが好調。原材料高、人手不足対策等のコスト増は解消されず引き続き収益を圧迫している。

45. < 東 京 都 ダイカスト製品製造業 >

取扱製品によってバラツキはあるが、受注量は増えている。多品種少量品が増加しているが、材料の確保が難しい。運送業界の値上げで輸送コストが大幅に上昇し、価格転嫁が必要。

46. < 岐 阜 県 鋳物 >

受注量は引き続き好調に推移。猛暑、人手不足、残業規制などにより受注量をこなせず、不良・納期遅延が起きている。暑さ対策で、空調などの設備を予定を前倒しして導入している。

47. < 大 阪 府 金属熱処理業 >

受注状況はこれまで同様好調を維持しているが、休日返上のフル稼働をしても納期遅れが生じたり、新規受注を人手不足で断念するなどの減益要素も継続している。

48. < 沖 縄 県 鉄鋼業 >

売上高、販売価格ともに上昇しているが、台風襲来に伴い先島及び周辺離島への建築資材の海上輸送が停滞し工事に支障が出ている。

一般機器製造業

49. < 群 馬 県 その他の汎用機械・同部分製造業 >

大変忙しく良い状態であるが、単価が非常に厳しく、短納期で苦労している。また、人材不足で非常に受注が難しい状況。アメリカを中心とした貿易摩擦がこの先大きくなりそうで大変不安。

50. < 富 山 県 非金属用金型製造業 >

中国の金型製造メーカーの日本への営業攻勢が高まりつつあり、技術の優位性を加味しても、受注獲得において一層の価格競争が避けられない。

51. < 長 野 県 一般機械器具製造 >

依然好調であるが、半導体、建機、工作機械等に減速の動きあり。人手不足感は引き続き高い。原材料・工具等値上げが続いており収益を圧迫している。

52. < 滋 賀 県 一般産業用機械 >

大手製造業の設備投資は忙しいが、部品の入荷に1年以上要するものもあり、受注しても納期・資金回収が遅れる場合がある。

53. < 奈 良 県 機 械 >

全体的には、受注量は増加しているが、人手不足による残業の増加による人件費増、運賃の値上げ及び原材料費の値上げなどにより、収益は厳しい。販売価格の値上げは、なかなか困難である。

54. < 愛 媛 県 鉄 工 >

農業機械関連は平調であるが、一般機械関連は堅調に推移している。なお、7月の豪雨による被災地域からの物流が停滞した影響が懸念される。農作物被害に伴う農機具の売上悪化が心配される。

電気機器製造業

55. < 富 山 県 電子機器用部分品製造業 >

車載リチウムイオン電池（LiB）需要の拡大が止まらない。蓄電池メーカーの競争は、今後、中国と欧州が主戦場になる。

56. < 山 梨 県 電気機械器具製造業 >

半導体関連の受注量の減少は今年末まで続くとの見解を示す組合員が多い。

57. < 長 野 県 電子機械器具製造業 >

先行き警戒感は強いが、緩やかな回復が続いている。但し、製造業は好調であるが、他分野への消費に廻っていない。

58. < 静 岡 県 電気機械器具製造業 >

猛暑の影響により、空調機の販売は好調であった昨年を上回る状況。人手不足の問題は継続している。

59. < 京 都 府 電機機械器具製造業 >

設備投資に係る見積もり照会並びに受注が増加の傾向。人材確保が困難な状況のなか、正常な生産体制の確立に課題を残し、納期対応不備に起因する逸注の増加を危惧する。

60. < 大 阪 府 電 線 製 造 業 >

自動車関連の出荷量は順調に前年同月比プラスを続けてきたが、ここに来て頭打ちとなった。住宅など建設関連の荷動きは僅かに動き出している。

輸送用機器製造業

61. < 愛 知 県 輸送用機械 >

大きな変化はないが、猛暑により現場の従業員の熱中症対策が一番の問題である。雇用情勢は相変わらず厳しい。仕事はあるが、人手不足が生じている。

62. < 兵 庫 県 輸送用機器製造業 >

機械部門以外の売上が増加したが、大口取引先の機械部門が大幅なマイナスのため、トータルの売上高は前月比減少。好調な精密機械部門以外の部門は明るい材料に乏しいと言わざるを得ない。

63. < 広 島 県 輸送用機械器具製造業 >

組合員の業況は、ビジネス依存度の高いマツダの業況に比例している。7月は豪雨の影響によりマツダが操業を大幅に縮小したため、前月比、前年同月比ともに売上は大幅に減少した。

64. < 香 川 県 造 船 >

昨年度と比べると、人員、売上ともに減少していて景況が悪化している状況。しかし、低調ながらも安定はしている。

65. < 愛 媛 県 造 船 >

この数年、造船業界全体が増産傾向にあったが、ここに来て、ヨーロッパやアジア、特に消費大国である中国の景気低迷により、海上荷動きが鈍化しており、海上運賃にも大きく影響をし始めている。

66. < 愛 媛 県 造 船 >

組合員全体的には、昨年に比べ売上は上昇傾向にあるが、7月は猛暑が続く作業効率も悪く、暑さ対策に係るコストも増加した為、利益上昇は見受けられない。

その他の製造業

67. < 福 島 県 漆 器 >

ワールドカップ、西日本豪雨、熱波と続き、人の動きはとても鈍かった。

68. < 静 岡 県 そ の 他 >

この猛暑により、空調機業界は製品の供給が追いつかず、協力会社も受注が増加傾向。

69. < 愛 知 県 アウトソーシング >

自動車メーカーによりばらつきはあるが、国内新車販売は好調に推移。各社から下半期前半の目標数値の発表があり、その生産に対応するための雇用人員増加がみられる。

70. < 愛 知 県 工業用模型 >

仕事量に波があり、持続性が乏しい。材料の売上も以前ほど増えていない。先が見通せない状況が続いている。

71. < 香 川 県 漆 器 >

豪雨災害や連日の猛暑の影響で売上が大きく減少している。今後収益や資金繰り面でも影響が心配である。

72. < 高 知 県 装 飾 品 ・ 同 関 連 品 製 造 業 >

7月製品会取引高は、前年同月比123%。ネット販売に力を入れている小売業者の話では、最近ではネットでも売上は伸びず、お店に客は来るが買う単価は昔の10分の1だそうで、今年は特に低いと嘆いている。

《非製造業》

卸売業

73. < 宮 城 県 繊維製品 >
猛暑が続く、冷感商材がよく動いている。作業服など現場での対応が急激に浸透しており、寝装・寝具なども品薄状態。今後も暑さ対策商材が動くと思う。
74. < 埼 玉 県 卸売業（川越地区） >
異常気象の影響で、季節物商品は一部で品切れ状態になるなど好調であった。
75. < 千 葉 県 総合卸売 >
猛暑の影響でキャベツ等葉物野菜が1～4割価格高騰し、他の野菜類も仕入価格が上昇。猛暑の影響で、制汗関係用品の出荷が例年に比べ増加している。
76. < 神 奈 川 県 卸団地 >
異常気象の影響でビール系、ソフト飲料、アイス物、日傘などの売れ行きは好調だが、猛暑での外出抑制によって、観光地への客足が伸び悩み、土産品などの売上はダウンしている。
77. < 福 岡 県 電気機械器具卸業 >
猛暑のおかげでエアコン、パッケージエアコンの需要があり、売上が伸びた。
78. < 熊 本 県 各種商品卸売業 >
震災後の復旧工事や新築工事に伴い建築資材卸売は、やや好調な売上を維持している。家電卸売りは今夏の暑さが要因となりエアコンの売上が好調となった。

小売業

79. < 青 森 県 家電小売業 >
猛暑の影響もあり、7月中旬頃からエアコンの販売が好調となった。冷蔵庫の販売も好調である。AV関連商品は相変わらず低迷状態だが、秋頃からの販売増に期待したい。
80. < 岩 手 県 野菜・果実小売業 >
記録的な猛暑から消費される食材が変化し、水分中心の摂取が求められ、素材から調理する食材は動きが悪い。
81. < 栃 木 県 各種商品小売業 >
全体として客数は前年を下回ってしまったが、売上は前年を上回り、客単価の向上が顕著な月となった。今後も人口減少が続く中、客単価アップを意識した仕掛けや接客を続けていく必要がある。
82. < 新 潟 県 化粧品小売業 >
7月は暑い日が続く、新製品を中心に動きが良かった。ただし、一部の大手メーカーの商品に関しては品切れ品が多くあり、機会損失があったため前年並みとなった。
83. < 佐 賀 県 食料品（鮮魚） >
7月前半は台風、長雨の影響で入荷激減。10日以降は猛暑で鮮魚特に生もの魚が売れなかった。後半は台風の影響で入荷量は激減。土用うなぎは仕入れ値が高く販売価格に転嫁できず収益減。
84. < 宮 崎 県 たばこ販売業 >
高齢化による組合員の減少が増加して、賦課金収入が減少している。また、電子タバコの全国販売を前に、コンビニや量販店との競争がさらに激化しそうである。

商店街

85. < 福 島 県 いわき市 >
暑い日が多く、商店街を歩く人々が大きく減少。特に、高齢の方は気象庁の呼びかけに応じて外出を控えているようである。土日はショッピングモールに客足が流れ、前年同月を割り込んでいる店舗が多い。
86. < 千 葉 県 柏市 >
本来7月はボーナス、中元時期で売上の伸びる時期であるにもかかわらず、天候不順、高温化や台風の影響で来街者大幅に減少。物販店においては悲惨な状況と成った模様。
87. < 長 野 県 岡谷市 >
暑さの影響か、来店者数は激減している。涼しい大型店に人が集まっているように思う。7月、8月とお祭り等のイベントが賑わいをみせるが、売上にどう結び付けるのかが課題。
88. < 滋 賀 県 大津市 >
高齢顧客の多い商店街は、猛暑で来客が極端に少ないうえ、異常気象の逆回り台風等で大規模イベントが中止となり大きな痛手となった。
89. < 香 川 県 丸亀市 >
7月は過去に類を見ない暑さで、高齢者の顧客が多い商店街は、全くと言っていいほどに来客がなかった。台風も二度接近し、臨時休業日も出て業績悪化に拍車をかけた。

90. < 愛媛県 宇和島 >

豪雨災害により、とても買い物をする雰囲気ではなく、夏のイベントも全て中止となり、閑散とした商店街がしばらく続きそうだ。

サービス業

91. < 宮城県 クリーニング >

7月は猛暑のため、一昨年の売上より40%低下した。今後もこの状況が継続すれば売上増加は見込めない。

92. < 福島県 温泉旅館 >

あまりの猛暑の連日で日中の人出が悪い。特に、高齢者と子どもが少なかった。夏休みイベント企画や宿泊企画等を打ち出しても反響がない夏である。

93. < 山梨県 警備業 >

深刻な警備員不足により従来からの取引先の業務が受注できず、今後業績が落ち込むことを懸念している。求人を行うが求職者は極めて少なく、退職人数と併せると雇用の増加につながらない。

94. < 静岡県 宿泊業 >

7月前半は順調に推移していたが、連日の猛暑による出控えから、中旬以降宿泊予約が止まった。さらに台風12号の影響で多くの宿泊キャンセルが発生した。

95. < 島根県 ホテル >

水害による影響は秋口までで済むと思われる。飲食も夏の高温すぎる影響が出ており、外出控えが売上に影響している。ビアガーデンも暑過ぎて出控えの影響が出ている。

96. < 高知県 飲食店 >

豪雨の影響で客数が激減、その後の連日の猛暑も響き業界の景況が大きく悪化。被害が比較的小さかった地域でも県外客が大幅に減り売上高が大きく減少した。

建設業

97. < 秋田県 建築リフォーム >

引き続き引き合いは多いが、自社も外注業者も人手不足で仕事量に追いつかない状況。

98. < 石川県 板金・金物工事業 >

受注及び受注残は変わらずあるものの、7月の猛暑で作業能率がかなり落ち込んでおり、材料関係も各社値上りが続いている。

99. < 山梨県 型枠大工工事業 >

7月は公共工事・民間工事ともに増加したが、工事単価が上がり、猛暑の影響から作業効率は上がらないため、仕事を抱えている企業ほど経営は厳しい。

100. < 岡山県 木造建築 >

7月の豪雨災害支援の改修工事増大のため、お客様のご依頼を断っている状態。

101. < 徳島県 解体工事業 >

民間家屋解体工事について、戸建住宅及び民間RC造大型工事の双方が前年より活況。公共工事については市町村での発注が活況。

102. < 大分県 電気工事 >

大雨被害復旧や猛暑対策エアコン工事などにより工事請負件数は増加したが、収益状況はあまり好転しない状況。

運輸業

103. < 宮城県 倉庫 >

前年同期比の売上高は、食品工業や木材関係で増加傾向。特に食品関係の増加が顕著。昨年に比べ、入庫・出荷の荷動きは活発でその数量も増加している。

104. < 秋田県 タクシー >

猛暑が続いたため近距離利用者が多く、運行回数は前年同月比で100%を超えたものの、実車1回当たりの走行距離が短く増収には至らなかった。

105. < 兵庫県 道路貨物運送業 >

大雨や台風により、荷動きの悪い状況が更に悪くなっていると思われる。慢性化しているドライバー不足やコスト増等により、組合員事業所の状況は益々悪化しているものと思われる。

106. < 岡山県 倉庫業 >

7月については、豪雨、その後の災害的な酷暑、また台風12号の横断等々自然現象の要因で、物流が大混乱を極めた月となった。8月についても引き続き不安定な状況が予想される。

107. < 山口県 一般貨物自動車運送業 >

前年同月より売上は増加したが、管理部門の経費が増加しており、収益状況は良くなかった。暑さで集中力が切れ気味なのもあってか、トラブル対応や対策に追われている様子が見られる。

108. < 鹿 児 島 県 運輸・倉庫業 >

豪雨によりＪＲでの貨物輸送ができなくなったため、物流がトラック便へ転換した。このため、荷物は多い状況となったが、長距離車輛の確保が難しい状況となっている。

その他の非製造業

109. < 宮 城 県 不動産 >

仙台市のオフィス需要は堅調で震災以降年々空室率は低下している。

110. < 神 奈 川 県 歯科技工 >

当組合の組合員数もピーク時より半分以上となり、養成機関への入学者数は20年前と比べると約7割減って、50歳以上の就業者数の割合は48%まで拡大している。

111. < 神 奈 川 県 不動産 >

7月の猛暑のなか、物件を探す人は少なく、賃貸も物件の情報を集めるのが目的で入居は秋以降と話す人が多い状況で、7・8月は人の入れ替わりは少ない。

112. < 兵 庫 県 ディスプレイ業 >

先月に比べると、夏休みに依るイベント等の開催実施された事で動きが出た。

113. < 鹿 児 島 県 自動車分解整備・車体整備業 >

夏場は暇な傾向があるが今年はさらに厳しく、車検場も持込が少ない状況。他種多様な指定工場への流れが多くなってきていると思われる。

114. < 鹿 児 島 県 電気工事業 >

民間工事・官庁工事共に順調に発注されている。太陽光発電工事をメインにしていた業者は軒並み完成高が減少し、収益も減少している。